

産学協力研究委員会「日本におけるケミカルバイオロジーの新展開第 189 委員会」  
平成 28 年度 第 1 回定例会 幹事会議事抄録

日時：平成 28 年 6 月 10 日（金）13:00-14:00

場所：大手町サンケイプラザ 2F 201 号室 東京都千代田区大手町 1-7-2

出席者：【敬称略】

長田 裕之(理化学研究所) 穴澤 秀治(バイオインダストリー協会)

井本 正哉(慶應義塾大学) 上村 大輔(神奈川大学) 永野 栄喜(住友化学株)

遠藤 正志(株LSI メディエンス) 櫻井 邦弥(EA ファーマ株) 横田 博之(アステラス製薬株) 町谷 幸三(日本農薬株) 平野 弘之(理化学研究所)

事務局：山口 直美(理化学研究所) (学界委員 4 名 産業界委員 6 名 随伴 1 名)

議事内容：

1. 前回 第 4 回（平成 28 年 3 月 2 日）議事録【資料 1】の確認
2. 前年度活動報告について
  - 【資料 2-1】開催状況 5 回(設立総会+定例会 4 回) 延べ日数 6 日(地方 1 泊)
  - 【資料 2-2】活動状況報告書
3. 前年度会計報告について
  - 【資料 3】支会会計処理中 第 3 回定例会までの集計
  - 第 4 回定例会費用および 2015 年会報誌の印刷および執筆担当へ謝金に加算される収入 産業界 20 社会費
4. 新入会委員 【資料 4】
  - ・櫻井 香里 東京農工大学大学院工学研究院 生命機能科学部門 准教授
  - ・荒井 緑 千葉大学大学院 薬学研究院活性構造化学 准教授
  - ・油谷 浩幸 東京大学先端科学技術研究センター 教授
  - ・藤本ゆかり 慶應義塾大学理工学部 化学科生体分子化学研究室 教授
  - ・宮本 秀俊 J S R ライフサイエンス株式会社 執行役員 技術統括部長(全委員 42 名 (学界委員 21 名 産業界委員 21 名 女性/男性委員 4 名/38 名))
5. 特別事業（知識や技術の伝承等とりまとめ）について【資料 5】

3 月 29 日採択された旨通知があった。

幹事会に先立ち特別事業の第一回編集委員会を開催

  - ・編集委員の吉田委員と町谷委員に幹事就任をお願いした。
  - ・ケミカルバイオロジーの発展に貢献してきた化合物の取りまとめ経費への援助額 平成 28 年度 100 万円(3 年間 300 万円の予定)
  - ・編集方針

出版社 Springer JAPAN から提案されている”生理活性物質のエンサイクロペディア”の作成 収載化合物には、論文化された生理活性化合物を中心に合成化合物、農薬の範囲も含める。

Online で執筆 新規化合物の情報集積、論文の要約データシート 若い研究者に著作してもらおう。データが集積されたら 3 年後に刊行物(書籍)とする。

189 委員会委員にはメンバーとして参画を要請、また 海外の重要なメンバーの参画を要請する。

質疑では、出版物の著作権と印税の取り扱いがあがったが、出版社の方針にもよるが学術誌の領域では部数も少なく印税はほとんどないのが実情、メンバーのメリットとして「Online データベースの情報検索にアクセスできる。」など

#### 6. 国際シンポジウムについて

【資料 6】 上杉委員から送付された奈良ホテルを会場とした企画案(配布資料)を長田委員長が説明 (応募期日 6 月 17 日までに提出する)

#### 【その他】

##### ○平成 28 年度の活動について

- ・特別講演の候補者を、事務局(平野)へ連絡 プログラム委員に諮り決定する

穴澤副委員長より「ゲノム編集技術 -事業者が利用する際の注意点-」

現状 国により対応が異なることが明らかとなったことが説明された。企業委員からは引き続き関心が高いテーマであることが述べられた。

##### 10 月 地方 1 泊予定の開催地

秦佐八郎の記念館等 島根県益田市美都町 開催内容、アクセス(東京⇒岩見空港⇒益田大阪⇒JR 益田駅)について取りまとめメール連絡する。

- ・見学先の提案(意見交換会にて 河岸委員より)

株式会社にはらはら総合研究所

本社：島根県鹿足郡津和野町枕瀬 151-1

事業内容：冬虫夏草の研究開発、培養および販売

##### ○会報誌について

発表各委員より送付された要旨をとりまとめ作成した要旨案を回覧

次週メールにて、記載内容の確認と加筆(執筆)をお願いすることした。

(執筆者には執筆謝金を用意する)

以上

終了後 大手町サンケイプラザ 3F 304 号室にて委員会開催